

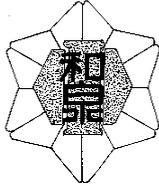
つなぐれ和泉っ子

令和4年6月29日

～人と社会と未来の自分～

和泉

7月号


<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/izu>

豊かな自然の中で

校長 中澤 道則

先日の出勤途中、学校のそばでつがいの雉きじを見かけました。その傍らには2羽のひな鳥と思われる小さな雉もおり、朝から心が温かくなりました。雉といえば日本の国鳥です。日本を代表する鳥という、雉のほかに鶴なども思い浮かぶと思いますが、雉は昔から民話などでもなじみがあり、雄鳥は勇敢さの、雌鳥は愛情の象徴であるということで、1947年。「日本鳥学会」が国鳥に選んだということです。そういえば「桃太郎」に出てくるのも雉ですよ。この雉も、今、東京都では絶滅危惧種に指定されています。そんな雉がこんなに身近に生息しているなんて、我が町、「和泉」の自然の豊かさには感謝の気持ちでいっぱいです。



そんな豊かな自然の中、本校でも6月に入り、横山武夫さんのご指導のもと、例年のように5年生がプール裏の田んぼで田植えを行いました。裸足で田んぼに入り、泥の感触を楽しみながら横山さんの丁寧なご指導のもと、綺麗に植え付けることができていました。昨年度は収穫したお米をみんなで食べることはできませんでしたが、今年度はどうなるのでしょうか。また、プール裏の田んぼの横にある畑では、個別支援学級の子も達が育てている夏野菜が実り始めました。キュウリにナス、ミニトマト、ズッキーニ…。子ども達が丹精込めて世話をしたおかげでとても立派な夏野菜が収穫できました。低学年でもアサガオやミニトマトを育てています。子ども達には、この豊かな自然の中で、生命の大切さや不思議さをたくさん体感してほしいと思っています。

あと3週間で夏季休業に入ります。まだまだ新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を心掛ける必要はありますが、そんな中でも子ども達には、普段、学校があるときにはできないようなことを、たくさん体験してほしいと思っています。



今年の夏は例年のない猛暑が予想されています。7月も新型コロナウイルス感染症と共に、登下校の際にはマスクを外し、会話を控えるように指導する等、熱中症への対応も怠らず行っています。夏休みまであと3週間です。7月も子ども達が安全に、安心して学校生活を送ることができるよう、教職員一同、努めてまいります。保護者・地域の皆様におかれましては引き続きご理解、ご協力賜りますよう、何卒宜しくお願いいたします。